TRAIL



大阪府教育センター附属高等学校　校長通信　No. 7　　令和８年 10 月発行

最近、私の中で、読書熱が高まっていまして、私はこれを自分で、「第 2 次読書ブーム」と呼んでいます。
「第１次」は高校生のとき。友だちと競うように、推理小説を読んでいたことを思い出します。
そして、今は「第２次」。みなさんにいろんな**「未来の種」**を持ってほしくて、でも、そう願うなら、まずは私自身が、いろいろなものに触れ、自分の中にたくさんの種をまいておきたい。そんな思いもあって、最近はジャンルを決めず、いろいろな本を読んでいます。
一冊の本が、すぐに人生を変えるわけではありません。
でも、**本を読むことを通して心に残ったものが、いつか思いがけないところで、自分の何かとつながることがあります。**
まさしくそれが「未来の種」。一緒に「未来の種」をたくさんまこう

最後は、恒例の「私の本棚」のコーナーです。
新進気鋭の文芸評論家である三宅香帆さんおススメのこの一冊。
「読む前の自分には戻れません」（by 三宅香帆さん）
推理小説で有名なアガサ・クリスティーが別名義で発表した小説で、
三宅香帆さんが紹介したことをきっかけに、人気急上昇の本です。



～　私の本棚　～

本と向き合った時間・記録はあなただけの大切な財産です。
１冊１冊との出逢いを大切にしましょう。

冊数	出逢った日	本のタイトル	著者
7	9/12	春にして君を離れ	アガサ・クリスティー
		感じたこと・考えたこと・覚えていたいこと	
		自分の心を守る防御反応を超えて、真実を捻じ曲げて、 自分の見たい世界に変えてしまう… 確かに、「人間そのもの」のお話でした	